

世帯と人口

(7月1日現在)

世帯 42,760 (+46)
 人口 117,179人 (+94)
 男 60,116人 (-7)
 女 57,063人 (+101)

えひな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231-2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



環境を考慮し開発された次代の主役ハイブリッドカー

21世紀へ前進する海老名⑧

地球への優しさ乗せて走る



市保有の低公害車。写真左からごみ収集車、給食配送車（共にメタノール車）、軽乗用車（電気自動車）、普通乗用車。

以前の低公害車には、価格が高い、燃料や電気を補給する設備が不十分などの短所がありました。それらは適な地球環境を引き継いでいくため、自動車が自然と共に存続していくことが必要です。排出ガスを抑制する科学技術が進歩し、成果を上げている今、21世紀に向かって、今までの子孫に快適な地球環境に対する意識が問われていくと言えます。

自然との共存めざして

近年、市内でも見かけるようになった低公害車には、さまざまな種類があります。天然ガスなどを精製した燃料を使用するメタノール車は、動力はエンジンですが、排出ガスに含まれる窒素酸化物はディーゼル車の約半分です。電気自動車は、蓄電池の電力でモーターを駆動して走行し、騒音が少なく排出ガスが全く出ないことが特長です。ハイブリッドカーは、走行条件によつてエンジンとモーターの二つの動力を使い分けながら走るため、排出ガス中の一酸化炭素や炭化水素、窒素酸化物、二酸化炭素などが非常に少なくなっています。

市は現在、メタノール車3台、電気自動車1台、ハイブリッドカー1台の、5台の低公害車を保有しています。メタノール車はごみの収集や給食の配達などに、また、電気自動車とハイブリッドカーは通常の業務に使用しています。今年6月に導入したハイブリッドカーは、発進加速がスムーズで、音も静か。モーター用の電力を走行中自動的に充電するので、音も静か。モーター用の電力を走行中自動的に充電するので、燃費がよく、省エネルギー効果に優れているという利点もあります。

開発がすすむ低公害車

現在世界中の自動車の台数は約7億台、わが国だけでも約700万台に到達しました。しかも、今後30年間でその数は倍増すると予測されています。現代の日常生活に自動車は必要不可欠な存在ですが、その一方で、排出ガスによる温室効果や酸性雨など、地球的規模の環境問題が起これ、私たちの未来を脅かしています。こうした事態を考慮して、排出ガスを低減するために開発されたのが、低公害車と呼ばれる自動車です。



中河内、尾上隆弘・弥生さんの2女=1歳1ヶ月



上今泉、岸本孝幸・直美さんの長男=11ヶ月



社家、下國裕一・裕美さんの長男=11ヶ月



岡本、岡本和広・恵里さんの2女=1歳2ヶ月



杉久保、藤澤一人・江美子さんの2男=1歳1ヶ月



大谷、南尉也・智子さんの長男=1歳



東柏ケ谷、中村修・津夜子さんの長女=1歳



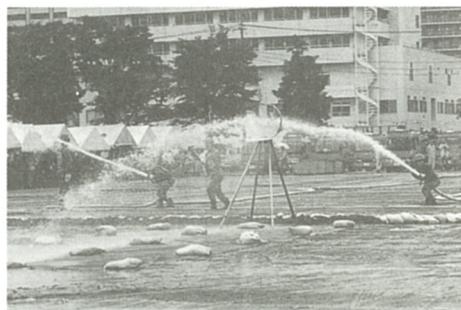
国分南、塩澤恭一・佳子さんの2男=1歳

まんまる赤ちゃん

岸本
かほと
海飛ちゃん岸本
かほと
杏奈ちゃん岡本
かほと
杏奈ちゃん岡本
かほと
杏奈ちゃん南
みなみ
彰範ちゃん南
みなみ
彰範ちゃん

▲もしも、の火災に備えて

市消防操法大会が行われ、市内15分団が日ごろの訓練成果を競いました。最優秀賞には、第10分団(杉久保・上河内地区)(市役所催事広場で)



▶水の季節に競う

市総合体育大会・水泳の部が行われました(参加選手100人)。選手の家族などが応援にかけつけた会場には「がんばれ」の声がこだましていました。

(運動公園屋内プールで)

今月のプロフィル

みんなとの別れ…



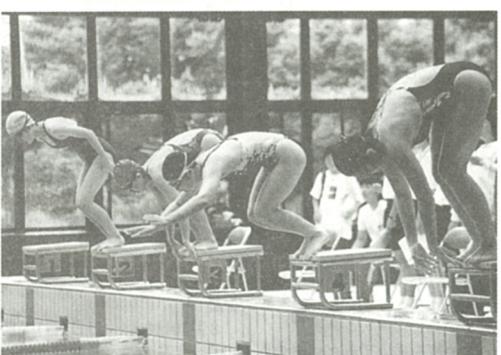
▲アレックス先生

▲キャサリン・メアリー先生

とてもさびしいです

派遣終了で離日する英語指導助手の2人は、「みんな、英語の読み書きはとてもよくできます。あとほとんど話して、発音を磨けばもっとすばらしい」と口をそろえるアレックス先生とキャサリン・メアリー先生。おどろいた夏から、英語指導助手として市内の中学校の教壇に立ち、このたび帰国することになりました。
＊海老名での2年間はいかがでしたか。
海老名は、人々が親切。交通の便も良くて、しかも自然豊かでとても住みやすいところ。学校生活も楽しめました。
特に、体育祭や文化祭、フライト活動は、生徒みんながラツクスしていましたね。外国人が日本で暮すとなかなかじめず、悩む人もいると思いますが、私たちは全然そんなことはなかったです。すべての環境に恵まれ、海老名でとても住みやすいところ。学校生活も楽しめました。
12人はとても仲良し。「年齢が近いからかしら。仕事でもプライベートでも助け合ってきました」とにっこり。異国での生活がスムーズだった理由は、「こんなところにもあつたのかも知れません。

◀▼自然とのふれあい楽しんだ



◀もぎたてが一番

土の日・トウモロコシのもぎとりが行われました。会場では同時に、採れたての野菜などを販売する青空市も開かれて、親子連れなどおよそ200人でにぎわいました。

(大谷地区で)

フルーツピック

富士山のすそ野にある精進湖畔での野外教育活動。この日は有鹿小学校5年生が、自然の中で、いかだ作り、カヌー、食事作りなどを体験しました。

(市野外教育施設・富士ふれあいの森で)

1面の撮影では、たまたま芝生で食事中だったお母さんとお子さんに、無理を承知でモデルをお願いしたところ、快く引き受けてくれた

編集後記

「2年間みんなと一緒に過ごすことができてとても楽しかった。別れるのは本当にさびしいです。これからもっと英語を使つ機会が増えていくと思います。英語を学ぶことで、練習することで、そして実際に話をせび続けてください。SEE YOU! (さよなら)」

(康)

ださったので大変助かりました。実は、広報作成にはみなさんのがこうしたご好意が欠かせません。今後ともぜひ、ご協力を。